



# 京都市地域企業未来力会議 News Letter

令和7年  
23号

令和8年1月29日（木）に今年度2回目の京都市地域企業未来力会議を京都経済センター（下京区四條通室町東入函谷鉾町78番地）で開催した。中小企業団体や業種別団体の青年部組織の役員、地域企業等の現役経営者、従業員、地域企業支援に取り組む金融機関や支援機関の職員、市職員、学生などが参加。今回は、令和7年度輝く地域企業表彰受賞企業や10月～11月の2箇月間にわたり行われた事業者連携による新たな可能性を模索する公益的な社会実験「京都・地域企業 未来の祭典2025」の取組事例紹介が行われ、後半には、登壇者を交え、更なる連携を生むためのアクションや次年度への展望について、参加者同士の意見交換が繰り広げられた。



## 開会

京都市長

松井 孝治



京都府中小企業団体中央会

会長 安藤 源行 氏

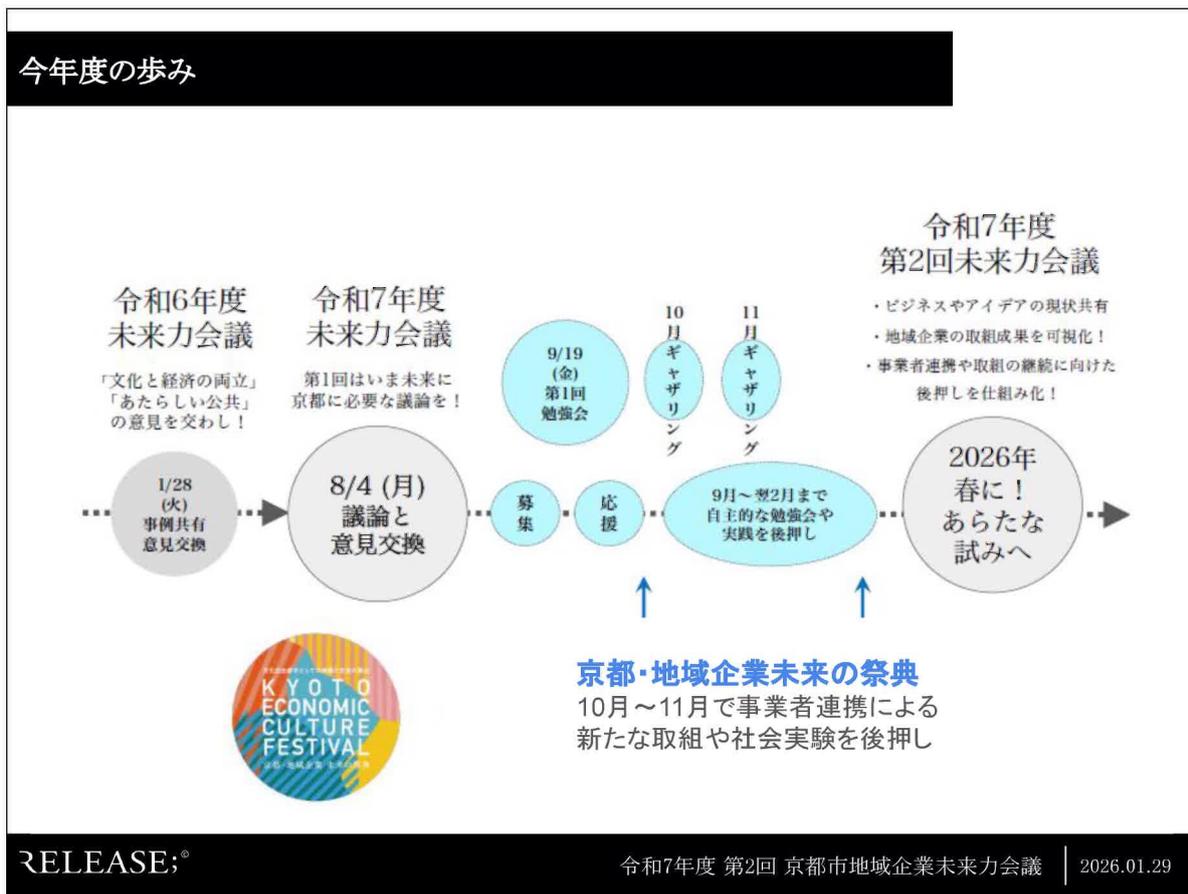


昨年末に、京都基本構想の策定を行い、歴史や文化、自然とのつながり、先義後利や不易流行という思想など、京都の価値観を改めて確認した。未来力会議は発足し10年が経過したが、これからも自利利他の発想を大事にしながら、地域企業をつなぐりを育んでいただきたい。また、学生が地域に関心を持ち、つながることが京都のまちの魅力であり、京都の将来の厚みを育むことになる。本日も地域企業や学生の皆さまが集い、つながりと議論が深まる場となることを期待している。

未来力会議は、京都の未来を論じる非常に大切な会議である。事業には人、モノ、金が必要と言われ、現代にはさらに難しい社会環境への対応が必要であり、5年以上続く企業は約20%と言われている。これまで様々な地域企業が知恵を絞りエネルギーを使って事業をお考えていただいているが、事業を継続するためには資金や財務についての視点も重要となる。本日も素晴らしい発想や議論を深めていただきたい。

## 今年度の「京都・地域企業応援プロジェクト」についての共有

京都市より、地域企業応援プロジェクトのこれまでの変遷とともに、本年度の事業の説明があった。



### 「京都・地域企業応援プロジェクト」の5つの取組

#### ①京都市地域企業未来力会議

多様な業種の経営者等が集まり、領域を横断した議論を展開しながら「社会課題」や「地域課題」、「経営課題」の解決につながる新たなビジネスアイデアの創出を図ります。特に今年度は、地域企業や行政等が社会の課題解決に繋がるビジネスアイデアや議論テーマについて共有・検討します。

#### ②京都・地域企業応援会

地域企業として事業を展開する企業が持つアイデアの具体化・実現に向けて、幅広い知見を持ったビジネス・コーディネーターから助言やヒントを得られる機会です。計画へのアドバイスだけでなく、地域企業間の連携支援等も年間を通じて実施することで、地域とともに歩む地域企業を応援します。

#### ③地域企業勉強会

地域企業宣言に沿って、事業継承や担い手不足など企業の共通課題を話し合ったり、低炭素社会の実現やSDGsに関する先進的な取り組みなどを学び合ったりする、テーマ持ち寄り型の合同勉強会を実施します。

#### ④「京都市 輝く地域企業表彰」制度

地域企業宣言を踏まえ京都市では条例を制定し、地域と共に継承・発展する「地域企業」の理念の浸透及び、実践の促進のために創設された表彰制度を策定しました。地域に長年親しまれている事業者や地域企業の解決策を目的に地域企業等が連携して実施する公益的な取組を表彰しています。

#### ⑤地域企業未来の祭典

地域企業未来力会議から生まれた、事業者連携による新たな可能性を模索する公益的な社会実験の祭典。京都市が地域企業と連携して開催しています。

これまでの京都・地域企業  
応援プロジェクトの歩み



## 令和7年8月4日（月）開催第1回目の未来力会議で聞こえた地域企業の声（抜粋）

人財の流出や若者の市外流出が昨今の課題である点を踏まえて、未来力会議に地域企業や自治体、産業支援機関、金融機関の関係者だけでなく、当事者である学生にも参加してもらえないか。

地域コミュニティや地域とのつながりを求めている若者と地域企業が連携した取組が作れないか。

中小企業が集まり、みんなで人材育成する仕組みができないか

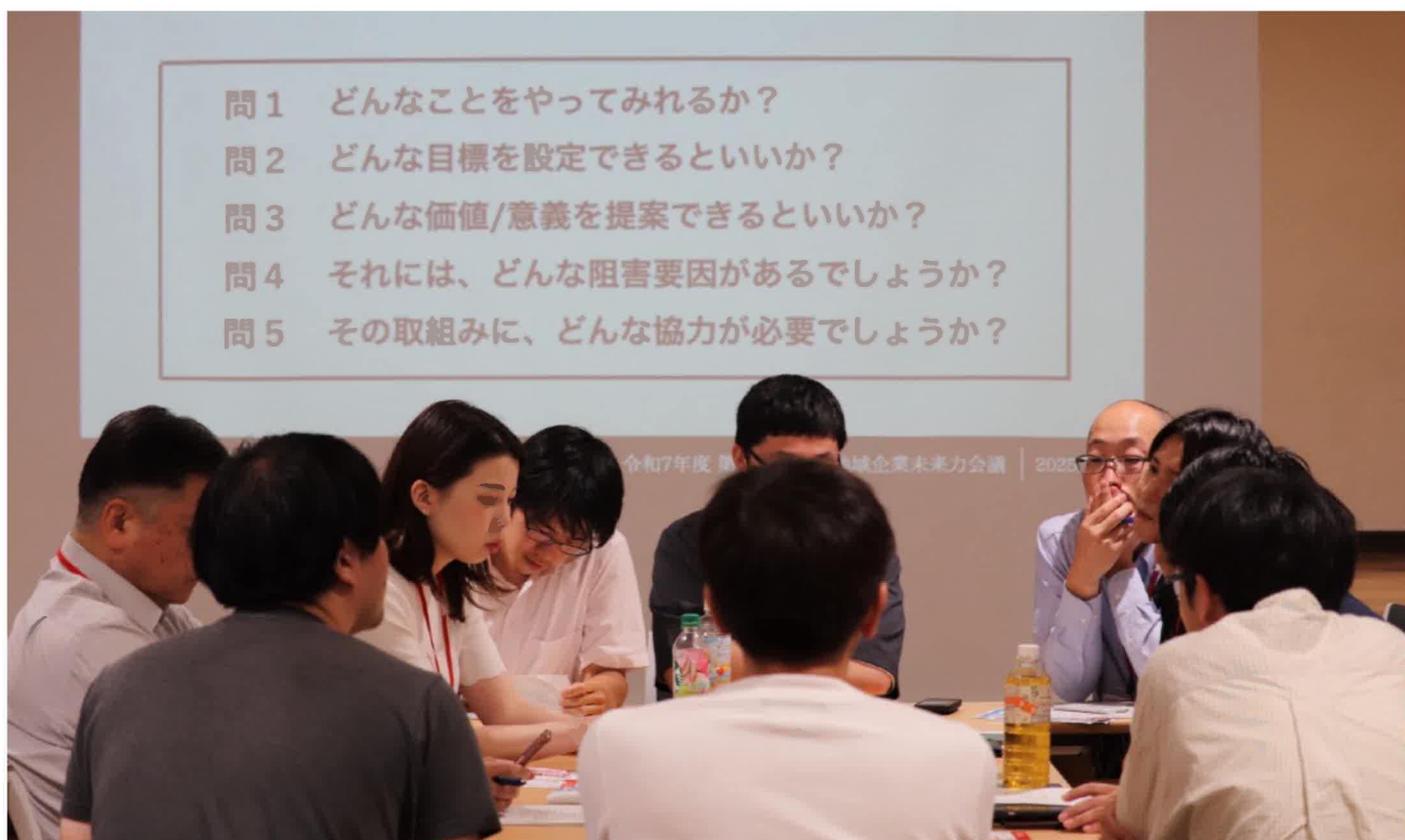
企業と学生が互いに学び合い、お互いについて少し深く知る機会が必要ではないか。

地域企業が教育の切り口で取組ができないか。小学生・中学生の時から身近な地域企業を知ってもらいたい。

休学して挑戦や探求をしている学生をターゲットにした取組ができないか

企業同士の接点を深掘りできる、良い循環がうまれるように、今の社員同士の交流する場を作れないか。

魅力的な中小企業を発信するための機能が必要ではないか。



前回の未来力会議では、京都市地域企業の持続的発展・成長に関するアンケートの調査結果を踏まえた議論を行ない、参加者による意見交換が繰り広げられた。

### 議論テーマ

- ① 地域企業が持続的に発展するための人材育成
- ② 若者と地域企業による地域活性化
- ③ 地域資源を活かす事業展開
- ④ 公民連携・組織間連携

## 第1部：前半：地域企業による取組事例紹介とテーマの呼びかけ



令和7年度京都市輝く地域企業表彰では、地域に根差した企業活動に取り組む16の事業者と、地域課題解決や新たな価値創出を目的に地域企業が連携して取り組んだ13の事業を表彰しました。

また、2事業者以上の連携により新たな可能性を模索する 公益的な社会実験では23の取組がありました。その中から未来力会議当日は6組の地域企業と、京都市関連部署からそれぞれ発表がありました。

各発表者からは、取組の企画背景や現状課題の共有、ダイアログに向けての問いかけがありました。

### 01 「Digital縁日」を通じた地域企業のデジタル・DX化推進

日本新薬株式会社 DX推進部部长 重野 大介氏



地域企業のデジタル化・DX化に寄与する様々な企画を展開した「Digital縁日」を企画。第3回の開催を未来の祭典期間に、京都市と連携し産官学連携をテーマにして開催し、46社、過去最大の134名が参加した。参加企業の誰もがDXを身近に感じていただける内容を共有し、実践的にデジタルを学ぶ学生と、企業でDXを推進する人材が交流し、イベント全体の満足度として4.42点/5.00点の評価があった。今後も継続を行うと共に、京都の地域企業のデジタル・DX推進と人材育成について呼びかけがあった。

### 02 「Civic Compass Forum 2025 in Kyoto」を通じた地域の魅力発信

株式会社想結び 取締役COO 西尾 創平氏



地域の新たな「価値」と「可能性」を共創する場として、次世代の地方創生プレイヤーを創出・育成することを目的に

「Civic Compass Forum 2025 in Kyoto」を2025年6月21日に開催。地方創生のカンファレンス、社会課題解決ピッチコンテスト、展示ブース、交流会を実施し、学生が166名参加。実施後にピッチコンテストに参加した上越市や鳥取市で新たな事業が生まれており、京都市提案の「学生の地域愛醸成のローカルメディア」も自社で事業化するよう検討中。2026年8月には500名規模での開催を予定し、地域企業や若者の参加の呼びかけがあった。

### 03 地域企業の事業承継について

| 一般社団法人京都府中小企業診断協会 事業承継研究会代表 橋本 勇人氏



中小企業の喫緊の課題である「事業承継」をテーマに、支援機関や民間事業者と連携した研究会での事例共有や事業者への事業承継PBL(診断・提言)の実施等の活動報告を行なった。事業承継には「経営と家族」の問題が複雑に絡んでいること、「事業承継＝株式・相続対策」に偏りやすいこと、「特にアトツギが気軽に相談できるところが無い」といった課題の共有とともに、支援機関同士や事業者を超えた連携の重要性の呼びかけがあった。

### 04 地域企業によるPBL教育の取組について

| 株式会社COLEYO 代表取締役 川村 哲也氏



プロジェクト型の探究教室「studioあお」をはじめとするスクール事業等、自社の取組事例の紹介があった。「教育×地域×企業」による、地域産業や文化の継承、次世代リーダー育成の取組の紹介とともに、地域企業と具体的に連携できるアクションとして、以下の呼びかけがあった。

- ①教育コンテンツの制作
- ②無料の教育モデルへの出資
- ③「よのなか体験便」の開催

### 05 「OMIAI KYOTO」を通じた地域企業と若者の価値観マッチング

| 株式会社就活ラジオ 取締役 永平 章大氏



学生が既存の学生生活や就職活動では得られにくい、「価値観」に基づいた地域企業との出会いをAIを通じて提供し、本市の若者の地域定着と地域企業の人材確保を支援するイベント「OMIAI KYOTO」の取組事例を紹介。参加学生には申込時に20問の適職診断に回答いただき、それに基づいた16通りのキャリア分析で自己理解を深め、診断に基づき相性の良い企業と交流を促進した。参加者からは満足度 4.6/5、地域企業で働くことへの印象が向上したと回答した学生は81%にのぼった。地域企業と学生の価値観マッチングについて共創の呼びかけがあった。

### 06 全員活躍時代の地域企業の人財活用

| 株式会社ワコールキャリアサービス BPO事業部部長 加藤 大智氏



人手不足で新たな人材の獲得競争が激化するなか、外部からのリクルーティングだけでなく、今の組織内のチカラを発揮してもらい「もったいない」を減らした「全員活躍」の組織づくりを提案。

その中でも研修サービスにフォーカスし、「女性活躍」であれば、家事や育児のような業務外の経験が仕事に役立つワーク・ライフ・インテグレーションの視点の獲得、「経営理念の共有」であれば他の組織から気づきを得る機会の提供など、地域企業の人財活躍のためのアイデアの発表があった。

## 07 地域企業による公民連携の更なる推進

| 総合企画局国際都市共創推進室 共創推進係長 大野 達三 氏



公民連携の取組は、行政課題や地域課題を、京都の地域企業が連携し、ビジネスにより解決する仕組みづくりや、地域企業の新たな事業展開・地域展開を検討する際に有用である。「地域企業による公民連携の推進」について広く呼びかけるとともに、「Kyoto City Open Labo」への参画の呼びかけがあった。



## 08 関係性経済の発掘と活用

| 環境政策局環境企画部環境創造保全課 生物多様性係長 宮田 孝司



人と自然が一体である認識をもつことで生まれた生活様式や生業がある。その知恵を未来へとつなぐため、まちを“生きたミュージアム”に見立て、子どもから大人まで、多様な主体と共に育てていく市民参加型の「生きものむすぶ・みんなのミュージアム事業」を立ち上げた。関心のある地域企業への呼びかけがあった。



## 市長・顧問からのコメント

京都市長  
松井孝治



「体験」を増やすことは、京都のまちにとって非常に重要である。教育の枠を超え、京都の職人をはじめとする多様な専門人材と出会う機会は少なく、若者と地域企業の接点も不足しているのが現状。そのため、民間のノウハウによるコーディネートを期待している。また、京都で暮らし、働く喜びをいかに創出するかという視点も欠かせない。「地域」という価値観が、規模を超えた企業同士のつながりを育む。こうした議論の場を継続していくことが、「新しい公共」にとって極めて重要である。

日本政策金融公庫  
京都支店  
国民生活事業統括  
吉田 博司



京都には多様な職業が存在してきたが、商売を継続する上で、本日共有された「事業承継」「販路開拓」「デジタル化」は重要なキーワードである。地域の活性化に向けて、こうした取り組みや議論をさらに深めていく必要がある。また、日本政策金融公庫としても、ソーシャルビジネスに関する支援や融資を実施しており、こういった取組への後押しをしたい。

商工組合中央金庫  
京都支店長  
白石清和氏



地域の隠れた人材に注目した取組は、非常に印象的であった。社内における多様な人材の活用は、ウェルビーイングとの相関関係があり、組織全体の発展にも寄与するというデータもある。また行政やステークホルダーとの連携への視点も大切である。この場を通じて、地域企業の持続的な価値向上につなげていただきたい。

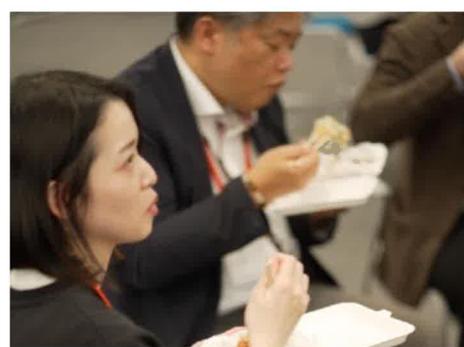
## 第1部：後半 ダイアログ（対話）

前半の発表テーマ「デジタル・DX」「魅力発信」「事業承継」「PBL教育」「価値観マッチング」「人財活躍」「公民連携」「環境」でグループに分かれ、実行者と参加者による意見交換を行いました。



## 第2部：交流会（ランチミーティング）

交流会では参加者同士が交流を深め、来年度に向けて活発な議論が広がりました。



## 事務連絡

### ◎地域企業応援プロジェクトWEBについて

地域企業未来力会議の内容や輝く地域企業表彰、地域企業のアイデアの具体化を支援する「地域企業応援会」等の情報を掲載しています。是非アクセスしてみてください。

京都 地域企業応援プロジェクト 検索 <https://community-based-companies.kyoto/>

京都市 地域企業未来力会議 facebook <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyō>

京都・地域企業応援プロジェクトInstagram [https://www.instagram.com/cbc\\_kyoto/](https://www.instagram.com/cbc_kyoto/)



京都市輝く地域企業表彰  
WEBサイトはこちら

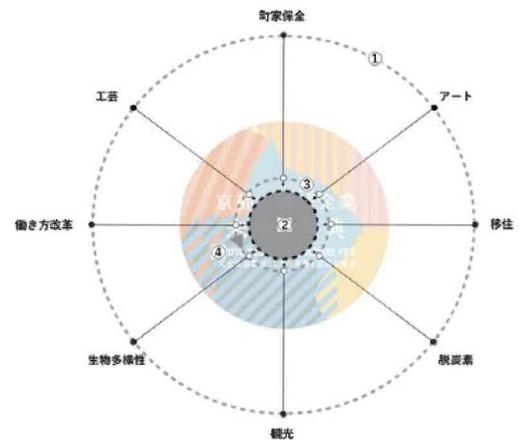
<レポート>

## 京都・地域企業 未来の祭典2025が 開催されました

「地域企業未来の祭典」は、地域企業未来力会議から生まれた、京都市が地域企業と連携して行う、社会実験を通して新たな価値を創出する取り組みです。事業者同士の交流や連携を促し、地域課題の解決や新たなビジネスモデルの創出を目指します。具体的には、2事業者以上の連携による社会実験を市内各地で実施し、その成果を共有する場として、年に一度の「祭典」が開催されました。



地域企業の未来力は、  
京都にも、世界にも、もっと役に立てるはず！  
自治体主導ではじまった動きだけでなく、  
わたしたちに必要な仕組み、  
地域企業が主導でできる動きをつくりませんか？



- ①多様な関心の入り口が連なること
- ②それぞれ活動・取組をもつ方々が集うこと
- ③関わり方を提案・選択できること
- ④それぞれの関心の入り口から集まった方々が回遊すること

**【実施期間】** 2025年10月1日(水)～11月30日(日)  
**【募集期間】** 8月1日(金)～10月31日(金)  
**【募集対象】**

1. 「京都・地域企業 未来の祭典2025」に賛同いただける方
2. 京都市の地域企業等が主体となり、公益的な2者以上の事業者連携があること
3. 以下「京都・地域企業宣言」の①～⑤のうち社会実験の趣旨に1つ以上が該当すること
  - ①自助努力や各企業の連携・融合により社業の持続的発展を追求する
  - ②生活文化の継承、安心安全、地域コミュニティの活性化に貢献する
  - ③働きがいや社会に貢献する喜びを大切に、若者をはじめたような担い手の活躍を支援する
  - ④受け継いできた文化や知恵、技術を学び、新たな価値の創造に挑戦する
  - ⑤森や水の恵みを活かし暮らしを支える豊かな自然環境の保全に寄与する

主催： 京都市  
 運営： 京都・地域企業 未来の祭典やってみよう会  
 事務局： 京都市産業観光局 地域企業振興室 / 一般社団法人 リリース / 株式会社よい根 / 株式会社SOU / 橋本経営相談事務所

10/10(Fri)10/24(Fri.) 10/31(Fri)11/21(Fri.)	夜観光・ナイトカルチャーの文化拠点づくり
10/15(Wed.)	Jam SessionナイトVol.7～偏愛が奏でる協奏曲。配信者もゲストも、みんなが主役～
10/22(Wed.)	「刺さらない」京都中小ベンチャー酒場
10/24(Thu.)	出でよ、令和の脱藩浪士！ヒッチハイクで人流創出①
10/24(Fri.)～11/7(Fri.)	Tsurubami Collection ～身のまわりのモノに、新たな可能性をみつけるDoa展～
10/28(Tue.)	アトツギから見た事業承継のホンネ
10/29(Wed.)	「はたらくを混ぜる」地域で「ごちゃ混ぜ」に働く
11/1(Sat.)	「演劇で働くはどう変わる!?」～あなたのはたらくを想像してみよう前夜祭～
11/1(Sat.)11/2(Sun.) 11/3(Mon.) 11/29(Sat.) 11/30(Sun.)	四条河原町交差点にてオーヤドム・香りの実験中！「あなたが持ち歩きたい香りはなんですか？」

## 23件の社会実験を実施



[https://community-based-companies.kyoto/wp-content/uploads/2026/02/KECF2025\\_A4report1.pdf](https://community-based-companies.kyoto/wp-content/uploads/2026/02/KECF2025_A4report1.pdf)